

情報工学科			情報工学基礎				
学年	第2学年	担当教員名	林 裕樹				
単位数・期間		2単位	通年	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		情報処理技術の初歩的な基礎知識を、情報工学演習との連携によって講義と演習の両面から習得する。コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに関する理解を進めていくことで、初級システムアドミニストレータ試験の基礎知識に対応できることを目標とする。 また、高学年で履修する専門科目の基礎となる。					
		釧路高専目標	C:100%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		座学で学習した内容を演習で確認する形式で授業を進めるので、情報工学基礎と情報工学演習の双方にきちんと出席しなければならない。 やむを得ず授業を欠席した場合は、以降の内容をきちんと理解するためにも、次の授業までに必ず欠席した授業の内容を確認すること。					
到達目標		コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに関する基礎を理解できる。 総合的に問題を考え、応用問題(初級シスアド出題問題等)の解答ができる。					
成績評価方法		合否判定:4回の定期試験の平均点が60点以上であること 最終評価:4回の定期試験の平均点±授業態度等10%					
テキスト・参考書		教科書:江戸川編著 初級シスアド合格教本 (技術評論社) 参考書:福岡宏訓著 初級シスアドの教科書 (学習研究社)					
メッセージ		疑問点はなるべく早く解決して、いつまでも分からない状態にしないようにしましょう。 この講義の内容は、高学年の科目の基礎にもなる重要なものです。真剣に取り組んで、情報工学の基礎固めをしましょう。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
パーソナルコンピュータ(1回) OS・アプリケーション(1回) 表計算(2回) データベース(3回)				パソコンの構成や各パーツの機能を説明できる。 OSやアプリケーションの役割分担を説明できる。 表計算を利用することができる。 データベースの基本的な操作をできる。			
前期中間試験				実施する			
ネットワークの基礎(1回) ネットワークの利用(2回) ネットワークセキュリティ(1回) インターネット関連の法律(1回) 稼働率(1回) 会社と利益(1回)				ネットワークの基礎的な項目を説明できる。 ネットワークを使ったサービスの概要について説明できる。 基本的なセキュリティについて説明できる。 知的財産権や個人情報保護などの概要を説明できる。 稼働率の計算ができる。 会社組織とコストの基本事項について説明できる。			
前期期末試験				実施する			
在庫と売買(1回) 会社のコンピュータシステム(2回) データの整理(1回) データの利用(2回) 線形計画法(1回)				在庫や売買に伴う貸借処理の概要を説明できる。 会社経営に必要なシステムの概要を説明できる。 データの整理法を説明できる。 データの基本的な統計情報について説明できる。 線形計画法の基礎的な利用法と解き方を説明できる。			
後期中間試験				実施する			
確率(1回) データの特徴(1回) 論理演算(1回) システムの開発、運用と管理(4回)				数え上げなどの基本的な確率計算ができる。 データの特徴の捉え方を説明できる。 論理演算の基本が理解できる。 システムの開発、運用、管理の概要を説明できる。			
後期期末試験				実施する			